

## 生活ノートの取組について

前号でお伝えしたように、今年度は授業改善とともに**家庭学習の推進**にも取り組んでいきます。そこで、まず1学期中は、**生活ノート**を有効活用し、家庭学習の習慣や生活習慣の定着・改善を図ります。1学期中の取組の方法については、次の通りです。

- ①帰りの短学活で、その日の放課後の時間から翌日の授業の時間割までの**予定**を生活ノートのタイムスケジュール欄等に記入する。平日の最後の日（金曜日など）は、休日・祝日の**予定**も合わせて記入する。予定が分からない・記入できない場合は、空欄のままでも可とする。
- ②「今日の感想」（1日の振り返り）の欄は、寝る前までに記入する。
- ③翌日登校する前までに結果を記録する。記録方法は、**予定通り実践できた部分**（特に家庭学習の部分は必須）には**赤ペン**等で色をつけたり、**✓**（チェック）を入れたりする。実践できなかった部分や空欄の部分には**赤ペン**等で実際に何をしたかを記入する。

生活ノートには、昨年度まで**結果**を記録していました。今年度は、家庭学習やそれ以外の時間も含めて**予定**として記入し、その予定をもとに行動していくようにしています。それを継続していくことで、自分自身の生活スタイルが分かるようになり、学習習慣や生活習慣の定着・改善につながっていくと思います。学校でも、自主学習ノートや生活ノート等の内容を毎日確認し、必要に応じて助言や指導をしています。ご家庭でも、家庭学習とともに生活ノートに確実に取り組んでいるか確認していただけると幸いです。

## 教職員も研鑽に励んでいます

授業改善の一環として、教職員は年に1回以上、**研究授業**を実施しています。先週の5/30（木）には、今年度最初の研究授業（3年1組国語）を行い、その後、**授業研究会**を開き、授業の内容や生徒の様子等について話し合いました。3年生は各グループで話し合い、ICTも活用しながら、自分なりに考え、言葉や文章で表現していました。前号でお伝えした研究主題を実現するために、教職員もお互いに授業を提供し、研修を深めています。